

# 図書案内

2020年 3月号

担当 1-6 岩折 1-6 串田 1-7 高木 1-7 山口

## 春を読む

3月、もうじき春。春といえば何を思い浮かべますか。寒さを乗り越え、温かさを運ぶ季節、新たなステージへ進むための別れが訪れる季節、または募る思いが実る心の春、つまり青春を考える人もいるかもしれません。今回はそんな様々な顔を持つ春を想像させる本を紹介し、3月という節目の季節に読書で心を整えてみてはいかがでしょうか。みなさんにそれぞれの春が訪れますように。本は図書館で貸出しています。



### 『ツナグ』 辻村深月

別れはつらい。特に死という最大の別れは無情かつ突然で悔いが残ることも少なくない。この話に出てくる「使者(ツナグ)」という存在はそんな後悔の残る別れ方をした人に、一度だけ死者と会わせることができます。死んでしまった憧れの人や身近な人と会うことで別れの意味を知り、傷つきながら、それでもなお前に進む、いや進まなくてはならない人々の姿は私たちの心に深く刻まれます。別れの季節にぜひ読んでほしい一冊です。(高木)

**一親友の心得より**  
御園との別れを全身で感じながら、私は自分がしたことを思い、それを罪にすらしなかった御園が、せめてこれから私を忘れて安らかな場所にいけるようにと、無心に祈っていた。



### 『銀座ミツバチ物語』 田中淳夫

春の訪れを感じさせるミツバチ。ミツバチたちがつくるハチミツ。そのハチミツが東京の銀座で採れる、なんて知っていましたか。「銀座ミツバチプロジェクト」を立ち上げた筆者が、これまでの出来事、これからの銀座での養蜂、銀座や環境に対する見解を伝えます。ミツバチ愛が止まらない筆者の語り、自然の奥深さや未来への可能性を感じさせる一冊です。(山口)

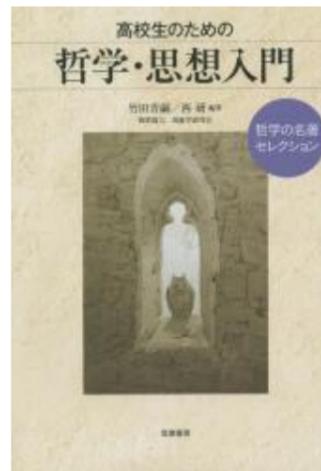
**「銀座ミツバチプロジェクト」をスタートさせたのは、私たちがいつの間にか、ミツバチそのものに魅せられてしまっていたからでしょう。**



### 『また次の春へ』 重松清

2011年3月11日、東北を襲った大震災で「当たり前」を失った人々にカレンダーを送るボランティアに参加することになった麻衣。「被災者の人」が嫌な思いをしないよう、細心の注意を払って送ったカレンダーについて、被災地から一本の電話が入り――。この話(「記念日」)を含む、震災に関わった人々が織りなす7話の短編集。人と人のつながりのあたたかさが胸を打ちます。震災から9年経った今、思いを馳せてみませんか。(岩折)

**「被災地」をくくってはいけない。「被災者」をまとめてはいけない。それでも、春の訪れを待つ思いの深さはみんな同じだったのだろう。**



### 『高校生のための哲学・思想入門』 竹田青嗣・西研

ある哲学者は言った。「我思う、ゆえに我あり」と。またある哲学者は言った。「一切の快びは永遠を欲する」のだと。一見関連のないこのような二つの言葉が、実は根底でつながっていることを、この本を読めば知ることができるだろう。春は何かをはじめるのに最も適した季節と言えるだろう。今まで近寄りがたかった「哲学」という学問に触れてみるのも良いかもしれない。(串田)

**「一切の快びは永遠を欲する――、――深い、深い永遠を欲する！」**  
ニーチェ 永遠回帰より

## 海外の春行事って何があるの？

3月といえば、日本では「ひな祭り」「卒業式」があります。では、海外ではどんな行事が行われているのでしょうか。インドでは地域にもよりますが、毎年2月または3月の2日間、「ホーリー祭」というお祭りを行います。「ハッピーホーリー」と叫びながら、カラーパウダーや水を相手にかけ合います。もともとは豊作祈願のお祭りでしたが、現在は春を迎える祭りとなっています。ただし、カラーパウダーの主成分である乾燥したコーンスターチは粒子が細かく、ライターなどの小さな火でも粉塵爆発を起こすことがあるそうです。火気に注意しながら楽しんでください。また、アイルランドでは、キリスト教を伝えた宣教者・聖人パトリックの命日である3月17日が「セント・パトリックステイ」という祝祭日になっています。この日を祝って、世界各地でパレードやお祭りが開催されています。パレードの参加には、緑豊かなアイルランドのシンボルカラーである緑色のものを身につけるのがお約束。日本でもこのイベントをやる地域があるので、気になる人はぜひ参加してください。春は新たなステージへ向かう季節。日本だけでなく世界に目を向けてみるものいいですね。

【記事出典】 <https://www.travelbook.co.jp/topic/15345> <https://www.jalan.net/news/article/228796/> [http://nrifd.fdma.go.jp/publication/houkoku/121-160/files/shoho\\_126s.pdf](http://nrifd.fdma.go.jp/publication/houkoku/121-160/files/shoho_126s.pdf)

